

国語科

1 年 【140時間】

学期	単元名・教材名等	達成したい主な姿【評価の観点】
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。 ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 	
1	学びをひらく <ul style="list-style-type: none"> ・シンシユン ・情報を整理して書こう 新しい視点で <ul style="list-style-type: none"> ・ちよつと立ち止まって ・ダイコンは大きな根？ ・話の構成を工夫しよう ・文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 言葉に立ち止まる <ul style="list-style-type: none"> ・詩の世界 ・比喩で広がる言葉の世界 ・読みやすく書くための楷書 	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】登場人物の心情や行動に着目して作品を読み進めている。 【思判表】会話や描写から登場人物の心情や変化を読む。 【主】学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 【知技】筆者の主張と事例との関係を理解している。 【思判表】叙述をもとに文章の要旨を捉えている。 【主】文章中の工夫や考えたことを伝え合おうとしている。 【知技】文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。 【知技】表現の技法を理解し使っている。 【思判表】根拠を明確にして自分の考えが伝わる文章を書いている。 【主】要旨を把握し、言葉について考えを深めようとしている。 【知技】点画の種類を確かめ、字形に注意して、整えて書いている。
2	心の動き <ul style="list-style-type: none"> ・大人になれなかった弟たちに…… ・星の花が降るころに 筋道を立てて <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ ・根拠を示して説明しよう ・話題や展開を捉えて話し合おう いにしえの心にふれる <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界 ・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉 価値を見いだす <ul style="list-style-type: none"> ・「不便」の価値を見つめ直す ・助言を自分の文章に生かそう ・文法への扉2 言葉の関係を考えよう ・読みやすく速く書くための行書 	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】時代背景や、情景や心情をたとえる表現を理解している。 【思判表】描写に着目して登場人物の行動や心情の変化を捉えている。 【主】積極的に描写を理解し、考えを伝え合おうとしている。 【知技】筆者の意見と根拠の関係を理解している。 【思判表】根拠を明確にして自分の意見を書いている。 【主】学んだことをこれからの話し合いに活かそうとしている。 【知技】古典には様々な種類の作品があることを理解している。 【思判表】登場人物の描写から、現代の人々にも共通する部分を考えている。 【主】古典の世界を想像したり、故事成語を使った文章を書こうとしている。 【知技】意見と根拠から、必要な情報を取り出し、整理している。 【思判表】目的に沿って必要な情報を結びつけ、要約している。 【主】自分の意見を積極的に文章にまとめようとしている。 【知技】「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について理解している。 【知技】漢字の行書の特徴と書き方を理解し、身近な文字を書いている。
3	自分を見つめる <ul style="list-style-type: none"> ・少年の日の思い出 ・随筆二編 ・構成や描写を工夫して書こう ・一年の学びを振り返ろう ・さくらの花びら ・文法への扉3 単語の性質を見つけよう 	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】場面描写の言葉や心情を表す言葉に着目している。 【思判表】場面展開や描写に着目して筆者の思いを捉えている。 【主】言葉を吟味して粘り強く随筆を書こうとしている。 【知技】声の大きさ、話す速さ、間の取り方に注意して発表している。 【思判表】読み深めたことをもとに作者の思いを想像し、考えたことを語り合っている。 【知技】「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について理解している。